

都市再生整備計画 事後評価シート

八幡浜中心地区 (原案)

令和元年12月

愛媛県 八幡浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県	市町村名	八幡浜市	地区名	八幡浜中心地区	面積	105ha
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	令和元年度	交付対象事業費	1,489百万円	国費率	0.500

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】八幡浜駅前広場、駐車場、情報板(駅前広場、市道3路線) 【高質空間形成施設】カラー舗装、照明施設(市道3路線) 【中心拠点誘導施設】博物館相当施設					
		提案事業	なし					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】駐車場	平成27年11月に計画変更(第1回)して削除			影響なし	
		提案事業	なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	【公園(都市再構築戦略事業)】北浜公園	平成28年12月に計画変更(第2回)して追加			指標3の目標値を上方に変更	
			【地域生活基盤施設】千代田町ちゃんぼん駐車場	平成28年12月に計画変更(第2回)して事業を追加			指標追加、目標値設定	
【地域生活基盤施設】八幡浜防災倉庫			平成27年11月に計画変更(第1回)して追加			目標追加、指標追加、目標値設定		
【高次都市施設】文化交流施設			平成29年12月に計画変更(第3回)して追加			影響なし		
	提案事業	【既存建造物活用事業】まちなか交流センター	平成28年12月に計画変更(第2回)して事業を追加			指標追加、目標値設定		
	提案事業	なし						
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-			
	変更	-	-		-			

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	商店街の歩行者数	人/日	449	H23	500	H29	-	283	×	あり	交流人口拡大を図る施設整備の遅れが、未達成の直接的要因である。駅前広場や駐車場の整備は回遊性の向上に貢献したと考えられる。	-
指標2	市民スポーツセンターの利用者数	人/月	12,081	H25	13,700	H29	-	12,667	△	あり	公園整備の遅れで一体的整備による効果発現が不十分であることが、未達成の要因である。利用者数は増加しており、効果は発現している。	-
指標3	生活習慣を改善する意欲がある人の割合	%	67.6	H24	76	H30	-	67.1	×	あり	スポーツセンターや温浴施設の利用者は増加しているが、生活習慣の改善意欲に結びついていない。ハード及びソフト施策の充実が必要と考えられる。	-
指標4	避難生活のために必要な市の備蓄量(食糧)の達成度	人分/3日間	840	H26	1,100	H30	-	1,432	○	あり	防災倉庫が整備されたことにより、市の目標以上の災害発生時の食料備蓄量が確保されたことが、達成の直接的な要因である。	-
指標5	まちなみガイド利用者数	人/年	620	H27	983	H30	-	317	×	あり	来訪者の市内回遊行動の目的地となる中心部の施設整備の遅れが、未達成の直接的要因と考えられる。	-

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	駐車場の利用台数	台/月	4744	H27	/	/	/	6,544	/	/	ちゃんぼん駐車場の整備より、既存商業地区の駐車台数が増加し、交流人口の維持に貢献していると考えられる。	-
その他の数値指標2	温浴施設の利用者数	人/月	11,228	H29	/	/	/	11,671	/	/	北浜公園・市民スポーツセンターと隣接する温浴施設の整備により、北浜エリアへの交流人口の増加に繋がっていると考えられる。	-

4)定性的な効果発現状況

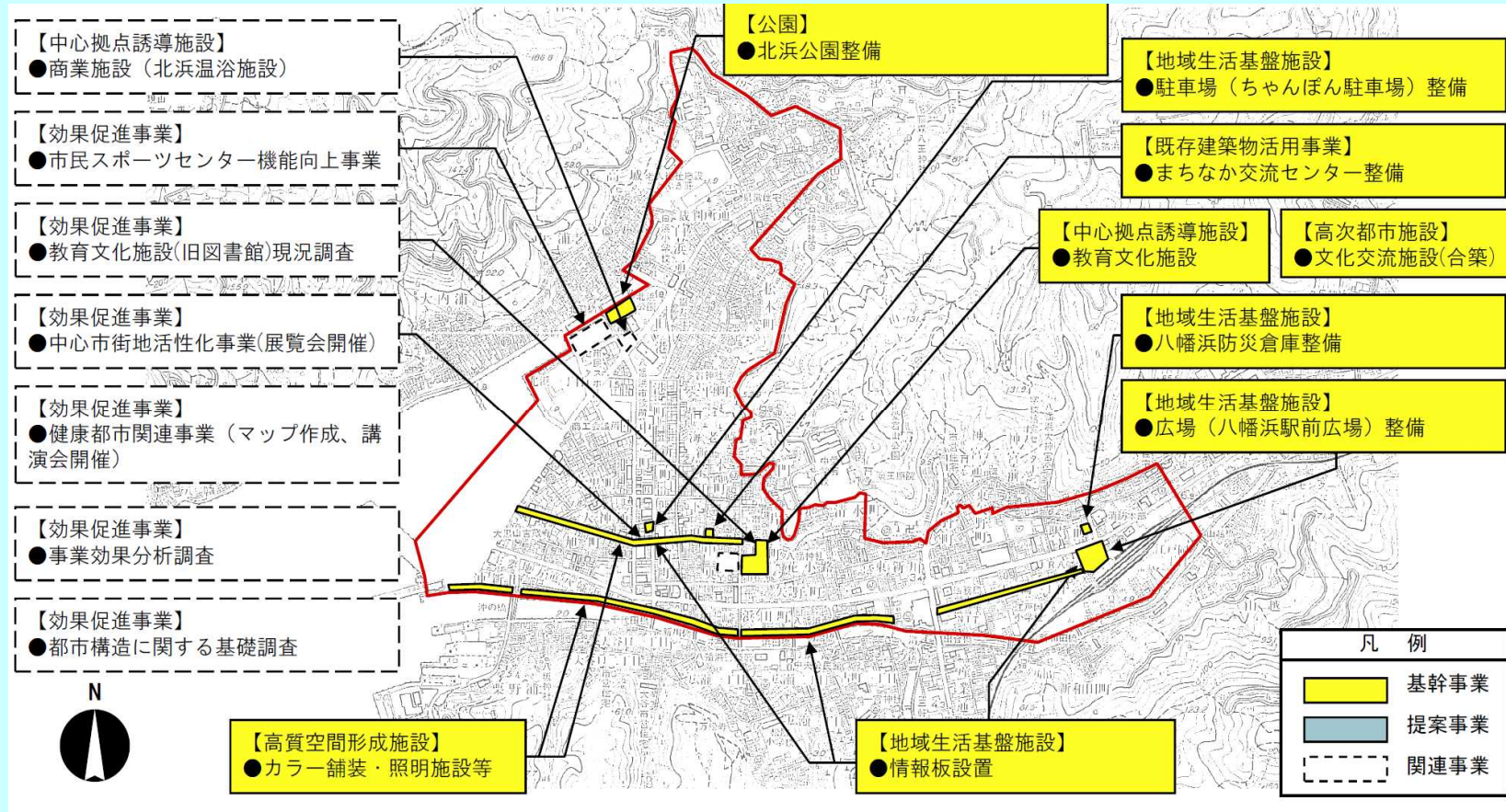
- ・街全体を「黒」で統一した地域活性化の取り組みの一つとして、新町商店街を核とした「黒い商店街」が企画・実施されており、新町商店街の近くに立地するちゃんぼん駐車場の整備が商店街の利用促進に貢献している。
- ・北浜公園にお店が出店する社会実験「Park Marche」(R1.10～12)では、子育て世代の家族連れを中心に約1ヶ月間で700人(R1.10.5～11.3)の店舗顧客数より計測)が利用しており、北浜公園の整備が北浜エリアの交流人口の増加に貢献している。
- ・市民ボランティアグループ「八幡濱みてみん會」によるまちなみガイドだけでなく、地域の子供たちが主体的に関わり、市の素晴らしい景観や建物などを再確認するイベント「八幡濱活拓(やわたはまみなとびらき)」が継続して開催されており、魅力ある地域の再生に向けた市民意識の醸成が図られている。
- ・みなと緑地公園では、市民が自主的に集まり、毎朝ラジオ体操が行われるなど、市民に少しずつ健康増進への意識が生まれている。

5)実施過程の評価	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
		達成状況	備考	
モニタリング	指標1「商店街の通行者数」、指標2「市民スポーツセンターの利用者数」、指標3「生活習慣を改善する意欲がある人の割合」、指標5「まちなみガイド利用者数」をモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	
住民参加プロセス	八幡濱みてみん會(市民ボランティアグループ) 八幡浜市健康づくり推進協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後も継続し、中心市街地へ来訪者を呼び込む施策の検討、市民の健康づくりを支援する環境づくりについて意見交換を実施
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	
持続的なまちづくり体制の構築	健康づくりを支援する市民グループ(はつらつ体操リーダー、地域版介護予防運動教室、八幡浜市糖尿病サポーター)	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	今後も健康づくりに関する市民の自発的な活動を支援
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	

様式2-2 地区の概要

八幡浜中心地区(愛媛県八幡浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	評価	目標値	評価	従前値	目標値
『交流拠点を有機的に結び、魅力ある“みなとまち八幡浜”の再生』 目標1 交通拠点の有機的連携で都市機能を強化し、みなと町の魅力を再生 目標2 健康都市づくりによる地域コミュニティ強化で賑わいを再生 目標3 安全・安心して訪れ、暮らせるまちづくりの実現	商店街の歩行者数	単位: 人/日	449	H23	500	H29	283	H29
	市民スポーツセンターの利用者数	単位: 人/月	12,081	H25	13,700	H29	12,667	H29
	生活習慣を改善する意欲がある人の割合	単位: %	67.6	H24	76.0	H30	67.1	H30
	避難生活のために必要な市の備蓄量(食糧)の達成度	単位: 人分/3日間	840	H26	1,100	H30	1,432	H30
	まちなみガイド利用者数	単位: 人/年	620	H27	983	H30	317	H30
	駐車場の利用台数	単位: 台/月	4,744	H27	-	-	6,544	H30
	温浴施設の利用者数	単位: 人/月	11,228	H29	-	-	11,671	H30



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 旧図書館と新設した教育文化施設を中心とする文化交流拠点、菊池清治氏の旧邸宅を活用した地域交流センター、市中心部のちゃんぼん駐車場などが整備された。 北浜エリアにおいて、民間活力を利用した北浜温浴施設と隣接する北浜公園が整備され、市民スポーツセンターの機能向上が図られた。 八幡浜消防本部に隣接する建設会館を活用して、防災倉庫が整備され、防災機能が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 基盤となる拠点整備は達成されたため、各施設・住民参加を維持するとともに、交通拠点・都市拠点・交流拠点の有機的な連携の強化による回遊性の向上、中心市街地へ来訪者を呼び込む施策を検討し、交流人口の増加を図る。北浜地区において隣接する市民スポーツセンター・温浴施設・北浜公園が一体となって、交流人口の増加を図る。自転車道整備等により、市内回遊環境の強化を図る。 健康づくりの拠点整備などのハード施策、「八幡浜市健康づくり推進協議会」との連携によるマップ作成や講演会活動などのソフト施策を展開し、市民の健康づくりを支援する環境づくりを推進する。 防災倉庫が整備されたため、施設の維持とともに、防災機能の周知及び防災啓発活動による安全・安心のまちづくりの実現を図る。